

# 第33回 議会報告会を開催

令和2年11月7日(土)パティオ池鯉鮒 花しょうぶホールにて、第33回議会報告会を開催しました。当日は約50名の参加で、第2部の「市民との意見交換会」では次のような質疑・応答がありました。

## 都市化と緑地確保

**問** 農地の埋め立てによる宅地開発が進み、定住者が増加することは喜ばしいが、水田の保水力や緑化範囲が確実に失われていく。マンション建設などは、一定の緑化が義務化されているようだが、開発のみを優先せず、緑地とのバランスをいかに保っていくのか。

**答** 開発については、地権者の考えを聞き、手続きに関するルール、条例等に沿って進められる。規模によっては制約もある。また、住民説明会の実施、安全対策、緑地確保等について住民、事業者、市との協議を行う。

## 駅周辺の環境対策

**問** 知立駅周辺地区においては治安上、様々な課題が発生している。一定の規制も含め早急な対応が必要。迷惑防止条例の制定などについての考えは。

**答** 駅周辺においては、地域住民やビルのオーナーなどから客引きの増加など、治安の悪化に対して憂慮する声が聞

かれる。現状でこのような状態を取り締まるのは県の迷惑防止条例であり摘発事例もある。この条例が一定の抑止力となっているが議会としても実効性のある対応の必要性を痛感している。当該地区に対し罰則規定をかけ、実効性のある条例を制定するには、県や警察との連携また市との認識や情報の共有が不可欠であり慎重な対応が求められる。市としての条例制定は相当の難しさも予想されるが、知立駅周辺の治安向上のため、今

後の方向性を協議できる場の設置に向け努力したい。

**問** 知立駅周辺整備事業が進み街並みが新しくなりつつある。しかし選挙関連のポスターや看板がまちな街の新しい景観を損ねている。街の景観維持のための条例を制定し規制をすべきでは。

**答** 選挙が近づくとは何枚も並べて貼られ景観上の問題は感じることもある。他市の景観条例などを参考に検討したい。

## 市長の退職金

**問** 市長の退職金ゼロの公約について9月議会では「努力しているが実現できない。引き続き実現に向け努力する。」としているが議会の考え方は。

**答** 市長公約である退職金ゼロについては、これまでも何度か議会で取り上げられてきている。しかし、これは知立市単独の問題ではなく愛知県市町村職員退職手当組合に加入しているため、その議会の承認がないと実現できない。もちろんこの退職手当組合の負担金は、市民の税金であり今後の対応については議会として注視していく。

## 野外センター廃止

**問** 知立市野外センターを設置をした理由と、今回の廃止に至った経緯と理由は。また総合教育会議に諮るとあるが内容についての報告は。

**答** 小中学校の「山の学習」を行うための施設が知立市にはないため、議論の結果伊那市への野外センター設置に至った。しかし現状を市内小中学校に確認したところ、9校から身近なところで行いたいとの意見があった。引率する先生の働き方改革の視点からも、拘束時間の長時間化を懸念する声もあることが理由と考えられる。議会としても今後の在り方を考えていく必要がある。総合教育会議からの報告は受けていない。

## 50周年記念事業

**問** 知立市制50周年記念事業について寄附金額が2千955万円とあるが、現在それを超えているか。

**答** 現在の寄附金の額は確認していないが、一般会計を投入せず全ての事業を寄附金で実施できると聞いている。

